

※

75th Hidden Budda

G 0312

“隠された仏像”と名付けられたこの作品は75周年記念ギターで、集ったオブジェの配置など、特に賞合いの入った作品だ。



左のホーンには作品名の由来である仏像、右にはミニカー、ボディには人形が埋め込まれている。細部に閉じ込められた古代の生き物のような、タイム・カプセルのようなムードをもつイマジネーションを掻き立てるコンセプトのアート・ギターだ。

Totem Guitars

Totem Guitars



トータム・ギターは、ドリーム・キャッチャーも製作するL.A.のマイケル・スバルトによるギター・ブランド。ボディ・トップに様々なアンティークのオブジェを散りばめ透明樹脂で固めるとい手法により製作される、文字通りこの世に一本しかない高い芸術性を持ったギターだ。一本一本のギターに絵画のように作品名が付けられ、それぞれのギターが物語性を持つ不思議な魅力がある。ボディ・バックには音響特性に優れた材が選ばれ、サウンド、完成度共に高品位なものだ。

ギター提供：宮地楽器神田店

※

Blue Gears

G 9826

ボディに埋め込まれた歯車が作品名に由来している。ダダイズムの前衛実験のようなコンセプトチェアルな存在感を放つ。

So Gorgeous!

Featured Art Guitars

Totem Guitars

※
California52

G 0306

本物のクルマのナンバープレートの一部をボディに埋め込んだもの。見ているだけでストーリーが思い浮かんできそうな作品だ。



※
JuJu-2

G 0313

建築物の腐材にタカラガイの貝殻を組み合わせたもの。ボディ下のアフリカの工芸品の一部が作品名の由来だ。



※
&

G 9806

様々なエキゾチック・ウッドの切れ端を組み合わせたもの。&の形の木のプレートがいわくありげな雰囲気を醸し出す。



※
Fields of Pleasure

G 0317

複数の材の隙間にも細かいオブジェが埋め込まれている。美的センスとギター製作に対する柔軟な姿勢が溢み出た作品と言えるだろう。



※
Alice's Chain

G 0315

年代を感じさせる建築物の一部にチェーンのアクセサリを組み合わせたもの。ロマンティックな作品だ。



※
Cantan

G 0316

スペイン語で“歌う”という意味の作品名が付けられたもの。古い家屋の腐材のような古びた塗装の木材が使用されたシンプルなもの。





4.完成したアート・ボディなどがぎっしり詰まった棚。



5.テレ・タイプのボディに埋め込む素材のレイアウト。6.ピックアップアップとのバランスを考えながら基本デザインが固まっていく。



7.こちらのテレでは古いココロウの箱の一部がレイアウトされた。8.新しいボディ・デザインに取り組みマイケル。不思議な古い木材とヴィンテージのセルロイド・ノブ、小さなゴムの箱、どんなギタリストの手に送るの想像をただけでも楽しい。



7

Factory Photo Report

/Michael Spalt Interview

トータム/ドリーム・キャッチャー・ギター工場レポートとビルダーが語るアート・ギターへの想い

Michael Spalt

Master Builder of Totem & Dreamcatcher Guitars

インタビュー・文◎長野尚也 協力◎宮路来器神田店



Profile

1957年オーストリアのウィーン出身。建築関係の教授の父と母のもとに生まれる。ウィーンとスイスで学校生活を送る期間にバンドでギターを始めるとともに、ギターのリペアなども行い、16歳で初めてギターを制作する。その後サンジスゴアート・スクールを卒業し、映画の脚本や写真の仕事をしていたが、再び趣味でギター制作を始め、98年にギター・メーカーTRRを設立。

たんに変わったオブジェクトを樹脂で固めただけの“ギター・アート”は作りたくない。



1.ギターのボディに埋め込まれる様々な紙の素材。古いクリスマスカード、タロットカード、電車の切符、お札など、どんなものでもギターの一部になる。2.こちらはプラスチック素材。マカフィーのプラスチックギターの一部の部品。磁石はネットなど、無意味と思われるようなガラクタでもマイケルの手にかかると立派な芸術作品に生まれ変わる。3.同じ素材でも一定期間開閉の光にさらされたものなどは、また違った風合いでできる。こうした“味わい”もアートギターの特徴として大切にされる。

ゴミからのリサイクルで作る
トータム・ギター

マイケル、あなたはハリウッドで働く、映画の脚本家だったはずですよね、いところから、どのようにギターを作りはじめたんですか？

「僕はウィーン生まれのオーストリア人なんですけど、ウィーンを美術大学で美術、工学を勉強したあと、映画に興味があったからサンフランシスコのアート・スクールで映像芸術を勉強したんです。その後、82年から85年まではウィーンに帰って、映画関連のさまざまな仕事や、カメラマンとしての仕事をしていってんですが、86年からロスアンゼルスに移って脚本を書くようになったんです。それで10年間は脚本家としてやってんだけど、映画の脚本というのは必ずしも脚本家の書いた通りにこなされるという、いろいろな人間が寄っててなかなか全く違ったものに書き変えていく場合がほとんどです。すてっラストレーションの難な仕事なんです。それで、そういうのがつくづくイヤになって、何かと自由出で、クリエイティブな仕事したいと思っで始めたのが、ギター作りです。

僕もほとんどと音楽が大好きだし、ウィーンではバンドもやってたから、ギターというのははくじらなくて、いつも非常にいいところにあつたんです。それに、まわりの自派してもっと面白いデザインのギターが多かったから、もっとユニークなものを作ってみようと思っで……」

「自分の芸術表現を、身近にある楽器、ギター作りに使ってたんです。楽器作りは誰かが教わったんですか？

「僕は音楽家でもあるし、独り一人で行い始めたこともできるから、それはとても大膽とは思いませんでした。それに、僕は僕はバンドをやっているところから自分の楽器だけでなく、他のメンバーのギターなんかを修理したり、調整し



12.ボディトップに流し込まれる合成樹脂の調合。強度、パツクの外材との相性、美観性がれたときの色の置き方など、あらゆる面でギター・ボディに最適となるまでテストされたオリジナル・ミクスチャーである。

9.マホガニーとローズウッドなどの相め合わせによるボディのラミネート。
10.ボディ・シェイプも手作業で削られていく。
11.ピックアップ・ホルダーの位置決め。



17.ドリームキャッチャー・ギターの樹脂コート流し込み。写真のレオさんは、トール・ギタースタジオ後1年ほどでマイケルの弟子となった優秀なクラフツマン。ドリームキャッチャーのアイデアは彼によるものだ。



16.ネック加工。ギター作り全体で、もっとも時間を費やす細かい作業がたくさん含まれている。



13.ボディのふちにテープ巻き付け、樹脂を流し込むため木枠にする。14.埋め込もうに細心の注意を払う。ながら樹脂が流し込まれる。15.第一段階の樹脂コートが終了したところ。

19.ピックアップの選択。20.ギター用のものだけでなくさまざまなノブやダイヤルが揃えられている。



18.塗装・樹脂コートが終わったパーツを乾かすラック。



21.ヴァイオリンのネックの断面がスライスされ、1ホールのようにレイアウトされ埋め込まれたクルールなテレ・ボディ。ノブもひと味違ったものが流し込まれる。22.ボディバックのジャックプレート。トールギターのボディバックやネックコート、木の部分は、樹脂コーティングされたボディトップと違い、ほとんどがオリジナルフィニッシュなど、地肌を忠実に仕上げられている。



てまたから、構造とか材料についてもよく知って、いたんだよ。たとえば、古い車やバイクが好きなんだけど、こういうものの修理、組み立てなんか全部自分でやっちゃうんで。」

トール・ギター・ドリームキャッチャー
— ギターの2ブランドを作られていますか、それらのコンセプトは？
「トールは1台1台まったく違うカスタム・ギターです。しかも、アートのための飾りだけでなく、ほとんどの部材をゴミからのリサイクルで作るようになっています。ドリームキャッチャーは、3つのボディカラーを持った限定生産モデルで、1度インディアンの子供たちの悪い夢を食ってくれる魔物の神様、ガデザイン・コンクエストのこのとる日本限定で作っています。」

— あなたの「モノ作り」では、ギターと「アート」、どちらが重要ですか？
「僕はギター職人というより、アーティストなんだけど、弾かれない楽器はただの木の片でしかありえないと多分思う。だから両方とも、とても重要だ。あんなに、このだけと、確信する、音についても、考えぬいて作っています。たんにギタースタジエクトを厳格で固めただけのギタースタジオは作りたくない。」

— さてとは、われわれの使っている樹脂も、マホガニー・ボディと組み合わせるときに、素晴らしい音なるよと調合したのなんですよ。ちょっと長い長さをもっと閉鎖しているサステインの良さと、マホガニーの暖かい音の伝わり方のバランスを考えています。ギター・ボディだけを何層も樹脂に展示したことはありませんけど、これはまた別のことなんです。」

— では最後は何か新しい企画は？
「ドリームキャッチャーのベースを作りたいです。」

(2004年12月1日電話にて)